

| 学年 | コース | 教科 | 科目    | 類型 | 必・選 | 単位数 |
|----|-----|----|-------|----|-----|-----|
| 2  | 特進L | 情報 | 社会と情報 | 全  | 必修  | 1   |

#### 講座のねらい

現代の情報社会では、身のまわりに膨大な量の情報があふれています。私たちは、その中から本当に自分が必要とする情報を見抜き、主体的に活用する力を身につける必要があります。また、これからはただ情報を受けるだけでなく、自ら有用な情報を作り出し、情報社会に積極的に発信していく態度が求められます。したがって、コンピュータやネットワークなどを効果的に活用する能力は大切ですが、単にこれらを使いこなしていればいいというものではありません。情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報および情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力を身に付けてもらいます。

#### 使用教材及び問題集

教科書『最新 社会と情報』（実教出版）  
 問題集『最新 社会と情報 学習ノート』（実教出版）  
 副教材『30時間でマスター Office2013（実教出版）』

#### 授業の内容と進め方

パソコン教室で、座学（講義）と実習活動を並行して進めます。  
 授業には教科書・学習ノート・30時間でマスターOffice2013・筆記用具を毎時間持ってきてください。  
 コンピュータを活用した作品作りをする際は、毎回、個人フォルダに保存してください。提出作品は、提出用フォルダを準備しますので、そこにコピーしてください。  
 コンピュータに対する知識・技術には個人差があると思いますが、隣同士で教え合いながら、クラス全体のレベルを上げていきましょう。周囲を驚かせるような作品を期待しています。

#### 講座の到達目標

1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。
3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

#### 評価の観点・テスト・課題など

学期末に定期考査を行います。内容はその学期に取り組んだ座学の内容と、実技の内容も含まれます。考査結果はもちろん評価の対象となりますが、それだけでなく、作業に取り組む姿勢や作品の内容、提出物、実技試験、授業態度などを総合的に評価します。  
 基本的には授業中に作品制作を行います。時間の制約・個人差がありますので、一部は昼休みに行います。

#### 備考

授業を欠席した場合は、次の授業までに授業内容や配布物などを確かめに来てください。  
 欠席者に対しては、フォローアップを行いますので、相談にきてください。  
 （公欠・出席停止・忌引きなども同じです。）

## 授業の計画

|  |
|--|
| <p>1 学期 学習計画および学習内容</p> <hr/> <p>第4章 コミュニケーションとネットワーク</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. コミュニケーション</li><li>2. ネットワーク</li></ol> |
| <p>2 学期 学習計画および学習内容</p> <hr/> <p>第5章 法規とセキュリティ</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 情報の管理・保護に関する法律</li><li>2. 情報セキュリティ</li></ol> |
| <p>3 学期 学習計画および学習内容</p> <hr/> <p>第6章 情報社会と問題解決</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 情報システムと人間</li><li>2. 問題解決</li></ol>          |